

平成27年3月13日

計量士国家試験の問題において出題ミスがありました

第65回計量士国家試験の環境計量士（濃度関係）の専門科目である「化学分析概論及び濃度の計量」の問題において、正しい選択肢を一つ選べとされているところ、正答が二つありました。出題ミスのあった問題については、二つある正答をいずれも正解とします。

1. 本年3月1日に実施した、第65回計量士国家試験の環境計量士（濃度関係）の専門科目である「化学分析概論及び濃度の計量」の問22において、正しい選択肢を一つ選べとされているところ、正答が二つあったことから（詳細は別紙）、本問については、二つある正答をいずれも正解とします。
2. 受験者の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後、再発防止に努めてまいります。

（参考）今後の予定

3月31日 正解番号の公表（経済産業省ホームページ）

5月下旬 合格者の発表（官報及び経済産業省ホームページ）

<経済産業省 HP（資格・試験）>

<http://www.meti.go.jp/information/license/index.html>

（本発表資料のお問い合わせ先）

産業技術環境局計量行政室長 三浦 裕幸

担当者：石川、渡辺

電話：03-3501-1511（内線 3461～4）

03-3501-1688（直通）

1. 計量士国家試験について

計量法第125条に基づき実施される国家試験。環境計量士（濃度関係）、環境計量士（騒音・振動関係）及び一般計量士の3つに区分されている。本年の環境計量士（濃度関係）の「化学分析概論及び濃度の計量」を受験した者は、3,392名。

（参考）計量法（平成4年法律第51号）

（計量士国家試験）

第二十五条 計量士国家試験は、計量士の区分ごとに、計量器の検査その他の計量管理に必要な知識及び技能について、毎年少なくとも一回経済産業大臣が行う。

2. 出題ミスの内容について

「化学分析概論及び濃度の計量」

問22「JIS K 0128 用水・排水中の農薬試験方法」に規定されている対象農薬と測定方法との組み合わせとして、正しいものを次の中から一つ選べ。

対象農薬	測定方法
1 EPN (C ₁₄ H ₁₄ NO ₄ PS)	電子捕獲検出器を用いたガスクロマトグラフ法
2 ダイアジノン (C ₁₂ H ₂₁ N ₂ O ₃ PS)	水素炎イオン化検出器を用いたガスクロマトグラフ法
3 チウラム (C ₆ H ₁₂ N ₂ S ₄)	ガスクロマトグラフ質量分析法
4 オキシシン銅 (C ₁₈ H ₁₂ CuN ₂ O ₂)	高速液体クロマトグラフ法
5 プロピザミド (C ₁₂ H ₁₁ Cl ₂ NO)	炎光光度検出器を用いたガスクロマトグラフ法

※「JIS K 0128 用水・排水中の農薬試験方法」において、EPNは電子捕獲検出器を用いたガスクロマトグラフ法で、オキシシン銅は高速液体クロマトグラフ法で測定することが規定されている。したがって、1も4も正解である。